



THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO KITA

1070 TOKYO YMCA 2-2-20 TOYO KOTO-KU TOKYO 135-0016, JAPAN Tel.03-3615-5562
 AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS. CHARTERED 1980



2022年 10月 No485

K・C・サミュエル (インド) 国際会長主題：「フェロ・ソップ[®] とイパ[®] 外で次の100年へ」
 フェン・ミン・チン (台湾) アジア太平洋地域会長主題：「新しい時代とともに、エレガントに変化を」

佐藤重良 (甲府 21) 東日本区理事主題：「未来に向けて今すぐ行動しよう」

工藤大丈 (東京ベイサイド) 関東東部部長主題：「新規技術を縦横に駆使し、効率を重んじる」

磯部成文 東京北クラブ会長主題：「“明るく・楽しく・朗らかに“ 40年を語ろう！」

会長；磯部成文 副会長；村杉一榮 書記；小仁恵子 会計；磯部幸子 担当主事；熊沢佳代

今月の聖句

ローマの信徒への手紙 12章 19節 村杉一榮 選

愛する人たち、自分で復讐せず、神の怒りに任せなさい。
 『復讐はわたしのすること、わたしが報復する』と主は言われる」と書いてあります。

第601回 10月例会プログラム

日時：2022年10月20日 (木) 14:00~16:00

場所：興望館 (墨田区京島 1-11-6)

内容：卓話「興望館の近況と今後」

(卓話者) 野原館長をはじめ職員の皆様

石垣真由子 (給食部)、須田よし子 (保育部)、

内海健太郎 (地域活動部)

・ハッピーバースデー

金 聖愛 9/30

会員協議会では前期の反省と今後の運営について協議した。

① 例会は第3水曜日 14時から 15時半。
 但し10月は興望館での例会とし後日打診の結果、**10月20日 (木)**と決定。

② 会費について 正会員3万円とする。

③ 10月興望館 11月磯部会長の卓話
 12月クリスマス礼拝 2月清泉Y報告?
 6月会員協議会

その他の月は40周年記念誌を見ながら受け持った個所について話をしながら楽しく過ごすこととする。

「第600回 9月例会報告」 神谷邦子

日時：2022年9月21日 (水) 14:00~16:00

場所：日本基督教団浅草教会

内容：会員協議会、主事交代、YMCA ニュース

コロナ禍の影響で3カ月振りであったのと、第600回という節目の例会で少し緊張感のある開会となった。2年にわたる村杉一榮会長から磯部成文会長へバトンタッチされてようやく開催することができた喜びであふれていた。会長の開会点鐘で始まりワイズソング、お祈りのあとニコニコでは中止となった間の出来事や状況を披露しあい心配したり同情したり…。

熊沢佳代担当主事のYMCA関連の報告があり、YMCAの歌のあと村杉副会長の閉会点鐘で終了。

出席者：磯部・幸子、神谷、熊沢、小仁、村杉



4 9月在籍者		9月出席者		出席率	B F等ポイント		ニコニコボックス
会 員	7名	会 員	6名	54%	月分	9月分	
広義会員	4名	広義会員	0名	メイクアップ	切手	0g	5,000円
		メネット		名	現金	0円	
		ビジター		月修正出席率	本年度累計		本年度累計
合 計	11名	ゲスト	名	%	切手	0g	38,000円
		合 計	6名		現金	0円	

東京北クラブ 40 周年記念誌を送付して

多くの先輩や旧会員、その他関係の方々からお礼状が届きました。

その中でも特に歩みを共にしながら、ご縁の深かった社会福祉法人興望館の野原健治館長から頂いた礼状をご紹介します。

*** 興望館便り ***

～興望館の新しい日常～

社会福祉法人興望館 萱村竜馬

コロナの影響で日常が様変わりしてずいぶん経ちました。当たり前が当たり前でなくなり一つひとつの活動の意味を考えました。こうぼうかんデーのような行事、日々の活動、保護者や地域の方々との協働。その根本に何があるのか。興望館は地域のなかに存在していること。その地域から社会をつくること。いよいよ社会が動き出した感があります。コロナによって与えられた時間で興望館を見つめ直したことを生かしていきます。

東京北ワイズメンズクラブが40周年を迎えられたこと、お祝い申し上げます。

齊藤實先生が東京 YMCA から興望館においでになった時と、ときを同じくしての創立でした。興望館にとっては地域の団体ではなく、広く活動する大人の団体との出会いでした。若い人たちの集まりを、あたたかく交わり支えてくださったことに、あらためてお礼申し上げます。

当時は興望館が再び立ち上がらなければならない時であり、人としての力をつけなければならない時でした。北ワイズメンズクラブの方々の具体的な提案、協力は、私たちに貴重な体験をさせていただきました。

今回の40周年は、コロナのためにお祝いの会がひらけない、もしくはひらかないという決断をされて、記念誌作成を決定したとのことでした。記念誌作成に至るまではご苦勞が多かったと思います。しかし興望館にとっては記念誌の発行はひじょうに内容のあるお祝いの仕方になりました。良いものを作っていただき、ありがとうございます。この40年間のワイズの歩みと興望館の歴史を重ねてみると、思い出すことが山のようにありました。

現会員12名は小さな群れなどではなく、例会600回、活動歴40年は素晴らしいものだと思います。

最後に、最初から今に至るまで、興望館を大切にしてくださったことにお礼申し上げます。

22年7月1日

野原 健治

YyYyYyyYyYyYyYyYy YMCA ニュース yYyYyYyYyYyYyYyY yYyY

1. バングラデシュ YMCA 同盟より要請を受け、ビリシリ豪雨洪水被災者救援支援として、7月末に国際協力募から約7,000ドルを送金した。現地スタッフを通して、500人の被害者への支援物資が届けられた。
2. 第25回会員芸術祭は、東京 YMCA のHP上に作品を掲載するオンライン方式で開催。会員、職員、児童館や学童クラブの子どもたち、高等学院の生徒等から作品が寄せられた。作品数は91点、9月末にて掲載を終える。
3. 夏季プログラムは6つの宿泊キャンプの他、デイキャンプや水泳、語学スクール等、感染対策の上実施した。フレンドシップファンドによる参加費補助により、9人が参加した。

【今後の予定など】

- ・毎月1日に実施している「早天祈祷会」は今年の10月で100年を迎える。記念として齋藤實氏を迎え、資料室に保管されている写真を見ながら、昔の様子を振り返る。
- ・第36回インターナショナル・チャリティーランアプリを使ったオンライン形式で開催される。個人参加：10/15～10/22 チーム参加：10/22～10/30
- ・ウクライナ緊急支援チャリティーコンサート 日本基督教団霊南坂教会にて開催される。日程：10/28

東京北ワイズ担当主事：熊沢佳代